

こんにちは。JA 静岡厚生連遠州病院手術室です！！

皆さんは手術室にどんなイメージを持っていますか？

遠州病院の手術室を紹介します ☆

ドラマなどで見た事はありませんよね。

「怖い」「暗い」「冷たい」イメージを持っている人も多いかもしれませんが、
実際どんな所なのか手術室を紹介します。



遠州病院手術室には手術をする部屋が6つあります。

麻酔科4名、看護師21名、臨床工学技師4名、ヘルパー6名、
計35人で外科、産婦人科、整形外科、泌尿器科、耳鼻科、形成外科の手術に
対応しています。

- 手術件数は年間（2019年度）3220件
- 月平均は270件の手術を行っています。

☆手術室看護師ってどんなことをしているのでしょうか。

まずは、手術室看護師の一日の流れをご紹介します。



朝のミーティングで
連絡事項を全体に伝え、
手術を行う患者さんの
情報を共有しています。



部屋ごとにわかれて
手術で使用する器械を展開します。
器械を並べる台に滅菌されたカバー
をつけます。
器械出し看護師は手洗いを
行い
ガウン・手袋を装着します。



器械のカウントや破損の有無、
ガーゼといった材料のカウントを行っていきます。



術式によっては、器械台を複数使う
こともあります。



器械展開が終わった後は
物品が不潔にならないよう
に、清潔な掛け物をかぶ
せ部屋に置いておきます。



今度は、患者さんが入室できるように
ベッドや物品など、部屋の準備を
行っていきます。



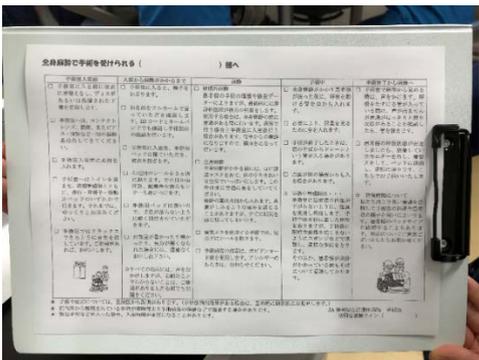
何科の手術か、どこの手術かによって、
部屋のセッティングは変わります。
これは外科の腹腔鏡の手術です。



これは泌尿器科の膀胱鏡の
手術の部屋を準備しています。



これは整形外科の手術をする
部屋になります。



部屋の準備が出来たあとは
病棟の患者さんの部屋に向かい、
術前訪問を行います。
術前訪問はこのような紙を
用いて行います。



手術室での流れを説明し、
アレルギーの確認もします。



患者さんの目線に合わせて
術前訪問をしています。
事前に患者さんと会うことで、
不安の軽減につながるよう努めています。



患者さんの年齢や術式によって
説明方法を工夫しています。



患者さんが入室したら麻酔導入です。
麻酔導入が終わったら医師、看護師で手術体位をとります。
執刀医、助手医師、器械出し看護師は手洗いに行きます。
その間に外回り看護師は手術で使用する器械の準備をします。
器械の清潔が保たれるよう、注意しながら掛け物を取っていきます。



消毒液を器械台に出します。



外回り看護師が術野の視野確保が出来るように、無影灯という明かりを合わせているところですね。

手洗い



手洗いが終わったらガウン・手袋を装着します。



必要な物品は、外回り看護師から器械出し看護師へ清潔に受け渡しをしています。



術中の器械

体内への遺残を防止するため、
器械や針糸などカウントします。



器械カウント

手術が終了し患者さんが退室したあと、
器械出し看護師は使用した器械の
カウント、破損の有無を
再度確認していきます。



使用した物品を補充し、
部屋の片づけを行います。

手術室看護師の1日の仕事がイメージできたでしょうか？
もちろんこれ以外にもたくさん仕事がありますが一部を紹介させて頂きました。

☆手術室を身近に感じられるように、手術室で知りたいことを何でもお答えしようと、静岡厚生連看護専門学校の学生にアンケートを実施しました。

Yes or No で答えられない質問に対しては、手術室スタッフに対してアンケートを行い、「私ならこう答える」というそれぞれの意見をもらいましたのでご紹介していきます。では、全て答えていこうと思います。

手術室ってどんなところ

Q：主な仕事内容は？

A：先程一日の流れを紹介しましたが、それ以外にも緊急室で救急患者さんの対応や病棟で助勤という仕事もあります。

Q：楽しいですか？

A：楽しいです。

Q：緊急手術はドラマのようにあるのですか？

A：あります！スタッフ総出で部屋の準備や患者さんの受け入れをしたりと、ドタバタの超緊急な場面が実際にあります。

Q：手術時間は平均どのくらいですか？

A：30分程で終わる手術もありますが、7～8時間かかる手術もあります。平均で言うと2～3時間程の手術が多いです。

手術室看護師について

Q：手術室看護師は一日中、手術室にいるのですか？病棟に行くことはあるのですか？

A：手術前に患者さん訪問として病棟に行きます。上記したとおり、助勤として病棟にも行きます。

Q：手術室看護師を目指すきっかけは何ですか？

A：手術への興味、三交代勤務への不安

- ・学生時代に看護学校の教員に勧められた。
- ・移動で手術室に来ました
- ・上司にすすめられた。手術室看護師になれば何でもできるようになると。
- ・私は子供が小さかったので、土日祝日休みが良いのではと、当時の看護部長に配慮していただき、手術室看護師となりました
- ・もともと救急とICUにつとめていて外科的処置の介助につく際にわからないことが多かったので勉強のために。
- ・結婚を機に日勤が中心の部署に移りたかった。単純に興味があった。行くなら早いうちがベターかなと思った
- ・自分が小学生のときに手術を受けたことがきっかけで・・・と面接などでは言いましたが、1番の理由は小中で観た医療ドラマの手術室看護師がかっこよかったからです
- ・急性期の看護に興味があり、学生の時から手術部を考えていた
- ・本を読んで看護師になりたいと思ったこと。父の入院の際の看護師へのあこがれから
- ・配属されたのがオペ室だったため
- ・かっこいいなと感じた、オペ看の響きがいい
- ・以前は3年目の移動があり、私は新卒で外科病棟で3年働いた後出産し、次の移動先が手術室でした。手術室で働くきっかけは核家族であったため、日勤が主な場所で働けるように配慮して頂けたのがきっかけです
- ・急性期がよかったから

Q：どのような所にやりがいを感じますか？

A：患者さんがありがとうなどの声をかけてくれること。元気に退院する様子を見たとき

- ・手術がスムーズに終わったとき。終わった時に患者さんから「ありがとう」や「お疲れ様」と言われたとき
- ・患者さんが無事に手術を終えた時の笑顔
- ・術後の患者さんにお礼を言われたこと・機械出しをスムーズに行えた時など

- ・失敗せず器械出しができたこと。無事に赤ちゃんが生まれた時（帝王切開はいつもどきどきしてるから）
- ・患者さんが元気に退院されたことをカルテで知った時。感謝された時。病棟の看護師が感じることと一緒にですね
- ・緊急カイザーで無事に赤ちゃんが産まれたとき。緊急手術をした患者さんが元気になったのを見たとき
- ・器械出しをしているときにドクターの意図が汲めて言われずとも必要な器械を渡せたとき
- ・大きな手術が安全に終わったとき。たくさんの器械を使う手術（整形など）をやりきったとき
- ・入れるオペが増えたこと、難しいオペにも入れるようになったとき
- ・チームの中の一員として自分の役割をこなした上で、患者様に配慮することができた時にやりがいを感じます
- ・患者さんの術前後と周術期を通して関わられた時に良かったと感じる
- ・できるようになったことが増えたとき
- ・術前訪問で説明した後「安心しますお願いします」と言ってもらえた時。手術当日、術前訪問で顔を合わせているので、当日安心してくれている時。術後「ありがとう」の言葉を頂けたとき
- ・長時間オペをやりきったあと

Q：大変だと思ったことはありますか？

A：1年目の時の学習や記録。病棟や救急外来のことも学ぶこと

- ・色々な科の手術に入るので病態生理や術式をそれぞれ勉強するのが大変だった
- ・全科のオペの器械出し等を覚えること
- ・準備が大変な手術。患者さんが急変したとき
- ・日勤後の17時から残り番でやっていくのですが、夜中までの手術だと眠気や疲労感で大変だと思います。
- ・大出血している手術の外回りは輸血の手配や出血量カウントなど忙しくて大変だった。（夜間の大動脈瘤破裂の手術でした）。
- ・一息つく間もなくオペを何件も続けたとき
- ・日勤後にそのまま緊急オペが2件連続に入ったときは大変でした。
- ・夜間の拘束帯のオペ、毎日緊張して大変です
- ・常に自分は何をすべきか優先順位をつけながらまわりを見なければいけないこと
- ・拘束勤務が長くてつらかったことはある。でも毎回ではないので耐えられます
- ・全ての手術の流れと、使用する器械、更に部屋の準備など、それぞれ異なるので、

学習のポイントを押さえるのが大変でした。

- ・夜中でも休日でも時間外で呼ばれて緊急オペになること。術式や器具、介助法、麻酔、いろいろ勉強することが多いこと
- ・覚えることが多くて大変です
- ・休日の拘束で3回呼ばれたとき

Q：一番辛いと思う手術は何ですか？

A：長時間手術

- ・予定よりも時間がかかってしまった手術。特に意識下で麻酔が切れてくると、話を聞いたり医師に調整の声かけをする以外何も出来ないのが辛いです。
- ・陰部のオペや小児の麻酔導入、抜管後など。長時間のオペ
- ・骨盤内臓器全摘→AM9:30から翌日のAM4:00までかかった。
- ・手や足の切断、陥入爪は見ていて辛いです。悪性腫瘍手術、人工妊娠中絶は患者の思いを考えると辛いです。
- ・患者さんが痛みを訴えだしたオペ
- ・帝王切開術
- ・8時間以上立ちっぱなしの時
- ・私は個人的に整形のオペが苦手です
- ・緊急の腎瘻。傷ができてしまうし、患者さんも突然のことなので
- ・初めて入る手術
- ・食道の手術。朝一から真夜中までかかりました

Q：何年目になったら慣れてきて仕事の楽しさを感じますか？

- A：1年目の夏頃。出来ることが増え、自信がついたから。3年目の秋頃、ほとんどの手術に入ることができ、部署の中でも必要とされていると実感できるようになったため。**
- ・2年目ですが、毎日緊張です
 - ・3年目位？慣れることで手術のことだけでなく、患者さんへ看護もできるようになってくるので
 - ・3年目だけど全然慣れてないです
 - ・未だに慣れることはないですが、1年目より2年目、2年目より3年目と入れるオペが増えて任された時
 - ・新しいことには緊張するので、器械出し、外回りが落ち着いた4年目ぐらいですかね

- ・1年目は覚えることが多くて大変でした。2年目になってできることが増えてくると楽しくなってきました。まだ覚えることは多いですが、3年目になるとできることがだんだん増えて慣れてきて、4年目の今は楽しくやれています。
- ・4年目以降かな
- ・5年目

人間関係・環境

Q：スタッフ人数を教えてください

A：最初にお伝えしましたが、麻酔科4名、看護師21名、臨床工学技師4名、ヘルパー6名、計35人で各科の手術に対応しています。

Q：優しい先輩はいますか？

A：もちろんいます。

Q：どのような手術が多いですか？

A：外科、整形、婦人科、泌尿器科、形成外科、耳鼻科、眼科の手術を遠州病院では行っています。最近は骨折を治す手術やカメラを使った腹腔鏡下の手術が増えています。

教育体制

Q：器械出し看護師の方は、手術で使われる器機の名前や用途などを全て覚えてから手術に望んでいますか？

A：安全な手術を患者さんに提供するために、教育体制もバッチリ整っています。器械の名前や用途を学び、先輩看護師がサポートしながら実際の手術に入っていきます。しかし、器械の種類はとんでもなくあるのは事実です。最初に全ての器械を覚えるのは当然不可能です。入る手術によって、使用する器械を無理なく順々に覚えていきます。

Q：手術を行う際に使用される機器は全て覚えていますか？

A：覚えて手術にのぞみますが、やはり使用頻度の少ない機器はあります。突然言われて、何だっけ・・・とドキっとすることも正直あります。

Q：医療機器が多くて覚えるのが大変そうですが、覚えられますか？

A：大丈夫です。上記したように教育体制もしっかりしていますので心配しないで下さいね。

Q：知らないことばかりなので、何でも知りたいです

A：手術室のこと何でも伝えていきたいと思います。今回はここまでですが、質問の続きにも答えていきたいと思いますので、次回もご期待下さい！！

ご協力頂いた学生の皆さん、たくさんの質問をありがとうございました。



作成者 JA 静岡厚生連遠州病院 手術室臨床指導者 鈴木雅俊
手術室責任者 川上有香子